

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和3年度 第1回入間市文化財保護審議委員会
開 催 日 時	令和3年10月1日(金) 午前10時開会・午前11時45分閉会
開 催 場 所	入間市博物館 会議室
議 長 氏 名	鹿島 英明
出席委員(者)氏名	鹿島 英明 枝窪 邦茂 柳澤 かほる 梅津 久昭 荒牧 澄多 小峰 孝男 児玉 俊雄
欠席委員(者)氏名	染井 佳夫 青木 和子
説明者の職氏名	博物館主幹 大久保 卓
会 議 次 第	(すべて公開) 1 開 会 2 挨 拶 3 議 題 (1)新規指定文化財の候補について〔資料1〕 4 報 告 (1)旧黒須銀行復元改修事業の進捗状況について〔資料2〕 (2)令和2年度文化財保護事業及び活用状況の 報告について〔資料3〕 (3)令和3年度文化財保護事業及び活用計画について〔資料4〕 (4)歴史的建造物「旧根岸稚蚕共同飼育所(幸武館)」 記録保存調査について〔資料5〕 (5)市指定史跡「藤沢橋石造物群」の移設について 5 その他 6 閉 会
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	資料1：令和3年度 指定文化財候補推薦一覧、市内文化財調査票 資料2：旧黒須銀行復元改修平面図 資料3：令和2年度文化財保存事業及び活用状況の報告について 資料4：令和3年度文化財保護事業及び活用計画について 資料5：旧根岸稚蚕共同飼育所(幸武館)実測調査図

事務局職員 職氏名	<ul style="list-style-type: none"> ・教育部部長 浅見 嘉之 ・教育部次長 片寄 貴之 ・博物館館長 加藤 保夫 ・博物館副館長 澤田 和也 ・同主幹 大久保 卓 ・同主事 中村 祐太
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要 (経過) ・ 決定事項	
議 題	3 議 題 (1) 新規指定文化財の候補について
決 定 事 項	3 議 題 (1) 新規指定文化財の候補について 前回の書面開催の際に推薦のあった4件の候補に、新たに2件を加えた計6件の文化財について審議を行った。継続審議となっている「出雲祝神社本殿」と併せて、引き続き調査を行っていくこととなった。

会 議 録 (3)

発言者	発言内容
	<p>3 議 題</p>
鹿島委員長	<p>(1)新規指定文化財の候補について 今回は指定文化財の候補についての意見交換であるため、事務局や推薦者の説明後、質問等をいただければと思います。</p>
事務局	<p>本来ならば指定文化財候補を現地で確認していただいた上で審議を行うべきものですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事前に事務局で撮影した写真を使つての説明にかえさせていただきます。</p>
事務局	<p>No.1「築地代次郎の墓」 築地新田は、市内の野田地区にあった新田です。築地代治郎が中心となって新田開発が行われ、享保年間の検地では、東西2町、南北2町の広さがありましたが、江戸時代末には戸数が減少していることから、耕作不適地として放棄されたと考えられます。候補となっている築地代次郎の墓は、指定文化財「野田山王塚石造物群」に近い山王塚墓地にあります。昭和50年代には円照寺にあったことが分かっていますが、その後現在地へ移設されました。状態は悪くなく、良好に保存されています。</p>
鹿島委員長	<p>市内の小中学校における地域教育の成果で、善蔵新田については多くの市民が年齢問わず認知している人が多いですが、築地新田についてはあまり認知されていないため、善蔵新田より先に指定されるのはどうかと考えます。また、築地新田は、市史等によると開発が成功したとは言えないため、市にとって重要な役割を果たしたのか疑問が残ります。</p>
荒牧委員	<p>入間市の歴史として、どのような位置づけになるのか明確にした方がよいと思います。</p>
小峰委員 事務局	<p>築地新田は、野田村が主導で新田開発を行ったのでしょうか。 築地代治郎は、現在の飯能市岩渕村出身の人です。明治になって野田村に合併しています。</p>
小峰委員 事務局	<p>築地新田は、村としての機能を持っていたのでしょうか。 新編武蔵風土記稿等、資料が限られているため、詳細は不明です。</p>
児玉委員 事務局	<p>築地代次郎は矢口の築地一族の子孫でしょうか。 調べていないので分かりません。</p>
小峰委員	<p>村の成立過程などが分かると望ましいと思います。他の市内の新田開発と比較をしながら、新たな情報を得ていくのが望ましいと思います。</p>
事務局	<p>No.2「私年号「延寿」を刻む墓石(1)」 No.3「私年号「延寿」を刻む墓石(2)」</p>
事務局	<p>(1)は元々黒須公民館北側の旧大行寺の墓地にあったものですが、蓮花院に移転され、今は無縁塚の中にあります。墓石は、小島一斎という人物のもので、左側面に延寿元年の文字が確認されます。(2)は鍵山墓地の繁田家の墓域の中にあり、森田みつという人物の墓石に延寿元年の文字</p>

会 議 録 (4)

発言者	発言内容
枝窪委員 事務局	<p>が確認できます。繁田家と森田みつとの関係性は今のところ分かっておりません。延寿元年は慶応3年(1867年)だと考えられます。なお、私年号の研究はそれほど進んでいないため、現時点で「延寿」という私年号がどの程度波及していたのかも分かっていません。</p> <p>私年号の位置づけを教えてください。</p> <p>私年号とは国家とは違った思想を持っていた人が使っていたと考えられますが、延寿はそもそも研究自体進んでおりません。一説には幕末から明治にかけての奥羽列藩同盟の支持者が刻んでいたという説もありますが、明確なことは分かっておりません。</p>
小峰委員	<p>中世、特に南北朝時代の金石文には私年号が散見することもあります。近世ではあまり例が多くないため、近隣地域の研究や例をもう少し調べてみてはどうでしょうか。</p>
鹿島委員長	<p>後に私年号の研究が進んでいった際に珍しいものではなくとも考えられるため、詳細な調査をしていくべきだと思います。</p>
事務局	<p>No.4「古谷重松奉納祭囃子祭礼図絵馬」</p> <p>当時の祭礼や地域の様子を伺うことのできるもので、久保稻荷神社に奉納されたものですが、現在は博物館に寄託されています。久保稻荷神社には、現在複製が置かれております。絵馬に描かれている短冊には14の地域が記されており、明治初期までに重松流が伝承された地名ではないかと考えられます。その一つに藤沢と記されていますが、かつて藤沢地区の神明神社にはお囃子があったことが伝わっており、そのお囃子が重松流であったのではないかと考えられます。詳細については推薦者である小峰委員よりお願いいたします。</p>
小峰委員	<p>こちらの絵馬には山車、榊の神輿など当時の重松流祭囃子の様子が見て取れます。事務局からの説明でもあったように明治7年頃までに重松流が伝播したと思われる地域が記されています。古谷重松は天保元年(1830年)所沢の植宿に生まれました。重松流を創始し、江戸の終わりから明治にかけて各地へ出向いて伝承していったそうです。小平などにも伝承の記録が残っております。以前、市内で聞き取り調査を行った際に、藤沢の古老より重松流祭囃子が伝承されていたことが確認できました。この大絵馬図は行列は、祭礼の様子を伺い知ることができるとなっております。山車は八王子の一本柱の形式に近く、重松は多摩地域の山車を参考にしたのではないかと思います。当時の芸能についても知ることのできる貴重な資料だと思います。</p>
枝窪委員	<p>榊が載せられているものは神輿ではなく、大榊ではないでしょうか。通常は短冊を付けませんが、奉納用に伝承の地名をつけたものを書いたのだと思います。絵馬の山車の形式は今も秩父地方に残っている山車の形式に似ており、万燈をそなえている万燈笠鉾の流れを汲んでいるので</p>

会 議 録 (5)

発言者	発言内容
小峰委員	<p>はないかとも思います。重松流が様々な形式で伝承されていったことが分かるうえでも貴重な資料となると思いますし、市内にもかつて重松流があったという証拠にもなるため貴重だと考えます。重松流の特徴として、重松自らが出向いて形式を教えていったという点もあげられます。</p>
荒牧委員	<p>露払い、手古舞、神輿の担ぎ手、世話人、牛に曳かれる山車、荷茶屋という順に描かれており、当時の風俗を知るうえで面白いと思います。また、見物人の中に海外の人の姿が見て取れるところも興味深いです。</p>
事務局	<p>行列の様子も良くわかります。重松流の入間市への伝承の経緯や影響、山車についての背景などが分かると更に面白いと思いました。絵馬の左上の社はどこでしょうか。</p>
小峰委員	<p>久保稲荷神社です。久保稲荷神社は、当時は大変盛況で、市内のみならず遠方からも多くの方が参詣に訪れていました。</p> <p>所沢から見て、久保稲荷神社は恵方の方角に当たります。奉納もそのようなことが関係していたのかもしれませんが。絵馬に描かれている山車は、形として山車の形状をとっていますが、川越の山車のように彫刻で飾れたものではなく、所沢市で見られる山車のように、臨時的に制作されたものではないかと考えられます。</p>
荒牧委員	<p>No.5「當摩茶店」</p> <p>旧黒須銀行の復元改修後の黒須地区をはじめとする周辺地区の歴史的景観の向上のために推薦しました。土蔵に見える場合は道から望むことができる部分であるなど、明治期の黒須地区の商人の様子を知ることができ、建築的にも貴重であると思います。現在も居住空間として活用されているためすぐに指定というわけにはいかないと思いますが、屋根が破損しているなど今後の維持管理のためにも指定もしくは登録できないかと考えています。</p>
鹿島委員長	<p>狭山茶の産地として当時を知ることができるため、登録するなどして残して行けたらよいと思います。</p>
小峰委員 事務局	<p>所有者の方の意向はどうなのでしょう。</p> <p>現在も店舗として営業を行っており、建物への愛着もありますが、個人での維持管理は難しくなっていると考えられます。市としては、所有者と連携を図り保存に努めていきたいと考えています。</p>
鹿島委員長 事務局	<p>早めの対応が必要と考えます。</p> <p>No.6「旧根岸稚蚕共同飼育所関係資料」</p> <p>現在の所有者から安全管理のために取り壊したいという話があり、今年3月に急遽建物の調査を行いました。調査後に建物の建設に関連した資料がまとまって発見されました。調査の概要は荒牧委員よりお願いいたします。</p>

会 議 録 (6)

発言者	発言内容
荒牧委員	<p>当初は根岸農家組合の共同稚蚕飼育所として建設されたものが、地域の産業が養蚕業から茶業へ移る中で、稚蚕飼育所の必要性がなくなり、昭和25年から片倉製糸へ貸与し、昭和47年からは武道館「幸武館」として最近まで使用されていました。3月の調査では共同稚蚕飼育所としての機能の痕跡や武道館として改修された箇所等を確認しました。その後、建設申請書や建築日誌等が見つかり、当時の共同飼育所の様子が分かる貴重なものと考えます。また、付近の風景は、建物と茶畑等が良く調和し、文化的景観として良いものと思います。養蚕から茶業、武道場としての根岸の人々の時の流れを知るうえでも貴重だと考えます。</p>
枝窪委員	<p>当時の根岸の暮らしの発展を知るにも良い資料だと思います。</p>
児玉委員	<p>文化財指定ではないのですが、地方だと昭和期の建物を活用し、現代アート展を行っていますので、違う形での活用もひとつの方法だと思います。</p>
事務局	<p>根岸は、同時期に茶業でも集団茶園を行うなど、共同(集団)管理の意識が強い地域でした。今回候補にあがった資料は、建物調査後に見つかったため、詳細な調査研究を継続していきたいと考えています。</p>
鹿島委員長	<p>今後の進め方については、事務局より提案はありますか。</p>
事務局	<p>今回候補に挙がった6件とともに、以前より継続調査となっている出雲祝神社については、まだ調査が足りない点があります。本日お聞きした意見をもとに、指定文化財の候補を決める上での調査を進めてまいります。</p>
鹿島委員長	<p>分かりました。それでは議題が終わりましたので、議長の座をおろさせていただきます。</p>
	<p>4 報 告</p>
	<p>(1) 旧黒須銀行復元改修事業の進捗状況について</p>
事務局	<p>今年度は昨年度の基本設計に続いて、実施設計を進めています。当時の状況が分かるように復元を第一に考えています。資料2にあるように、母屋は復元し、階段はかつてあったとされる痕跡を基にした復元を行う予定です。増築部に関しては展示スペースとしての活用を考えています。和室がある場所は活用のためにお手洗いや管理室等への改修を考えています。なお、先日行われた公開事業見直し「人間ドック」で旧黒須銀行の整備事業が取り上げられました。非常に厳しい評価となりましたが、課題を踏まえて、保存・活用をしっかりと検討していきます。</p>
荒牧委員	<p>まずはしっかりとした復元図を見せてほしいです。展示スペースとトイレの間の通路については、オリジナルの壁を壊すことになるので、どうかと思います。しっかりとした復元図を作り、それを基に文化財としての価値を損なわない方法を示してもらいたいです。</p>
事務局	<p>今回資料でお配りした図面は、かつての痕跡に基づいて作成しています。付属屋については、現状のものが一番当時に近いと推定しますが、さらに痕跡をもとに直していければと考えています。</p>

会 議 録 (7)

発言者	発言内容
事務局	<p>(2) 令和2年度文化財保護事業及び活用状況の報告について (3) 令和3年度文化財保護事業及び活用計画について ご一読いただき、質問等ございましたら事務局までお願いします。</p>
事務局	<p>(4) 歴史的建造物「旧根岸稚蚕共同飼育所(幸武館)」記録保存調査について 新規指定文化財候補のNo.6 の際に説明</p> <p>(5) 市指定史跡「藤沢橋石造物群」の移設について 県道川越宮寺線の藤沢橋の架け替え工事に伴い影響がでることから、西方約60mの老人憩の家の敷地へ移設しました。工事終了の3年後に元の場所へ戻す予定です。なお、付近にあった2基の石造物を、現在は並べています。再移設の際に改めてご意見をいただければと考えております。</p>
鹿島委員長	<p>5 その他 西洋館のステンドグラスの修復完了報告会に委員長、副委員長が参加しましたので報告します。</p>
事務局	<p>入間市文化財保存活用基金が4月1日より正式に設置されました。多くのご寄附をいただいておりますので、今後有効に活用してまいります。 次回以降の会議は12月と3月を予定しております。</p>

事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 年 月 日

議 長 の 署 名 _____

議長が指名した者の署名 _____